

I. 平成30年度の取組みの実績

| | | | | | |
|-------------|--------------------|---|------|---|------|
| グループ名称 | エネルギーを未来に残す家づくり研究会 | | | | |
| H30採択グループ番号 | 07 | — | 0695 | — | 0511 |

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

| | |
|----|---|
| 内容 | <p>当グループはH29年度に発足したが、その年度に採択された枠を活用できたのは、グループ代表者ならびに事務局を運営する弊社のみであった。 H30年度は1社でも多くの施工構成員が活用出来るように、各勉強会・研修会を開催し、その結果2社の施工構成員が活用出来るようになった。 更なるグループの成熟を期待するには、もっと引率力を付けなければと思い、『ハウス・オブザ・イヤー』に挑戦し、優秀賞を受賞した。</p> |
|----|---|

B 各種説明会・研修会の実施について

| | | | | | | | | |
|----------|----------|--|-----|------------|----|--------------|-----|-------|
| ① 事業 | 事業実施説明会 | 有 | 開催日 | 2018/08/24 | 名称 | H30グループ仕様説明会 | | |
| | 内容 | グループ代表者の事務所にて、今年度における取組方針の主旨説明を話し、グループ共通ルール・申請方法・研修会等の実施計画の説明会を行なった。(参加10社) | | | | | | |
| ② 消費者 | 消費者説明会 1 | 有 | 開催日 | 2018/11/18 | 名称 | 家づくり教室 | | ● |
| | 内容 | 建材メーカー展示場の会議室をお借りして、各構成員の見込みのお客様に対し、高性能住宅のメリットを各項目に分け学校の授業形式にしたわかりやすい説明をする「家づくり教室」を開催した。(6グループ9名の参加) | | | | | | |
| | 消費者説明会 2 | 有 | 開催日 | 2018/11/24 | 名称 | ありがとうの家構造見学会 | | ● |
| ③ 工務店 | 内容 | 完成してしまえばかくれてしまう構造部分、特に建材メーカーの断熱パネルの施工精度を見てもらうために、近隣の消費者ならびに施工構成員の見込み客に見学会を実施した。(見学者数9グループ15名) | | | | | | |
| | 工務店研修会 1 | 有 | 開催日 | 2018/11/23 | 名称 | ありがとうの家構造見学会 | タイプ | 見学会 ● |
| | 工務店研修会 2 | 有 | 開催日 | 2018/12/03 | 名称 | ミラクルZEHセミナー | タイプ | 座学 ● |
| | 工務店研修会 3 | | 開催日 | | 名称 | | タイプ | |
| | 工務店研修会 4 | | 開催日 | | 名称 | | タイプ | |
| 工務店研修会 5 | | 開催日 | | 名称 | | タイプ | | |

C 未経験工務店へのサポートの実施について

| | | | | | | | | |
|-------|-----------|---|--|--|--|--|--|---|
| 取組み ① | サポートの有無 1 | 有 | | | | | | ● |
| | 内容 | グループ代表者の事務所にて未経験工務店と経験工務店との懇話会を開催した。 未経験工務店からは提案方法が分からないとの声が聞かれ、経験工務店から提案し受注に至った過程の説明がされた。 身のある懇話会が出来たと感じました。(未経験工務店4社、経験工務店2社) | | | | | | |
| 取組み ② | サポートの有無 2 | | | | | | | |
| | 内容 | | | | | | | |
| 取組み ③ | サポートの有無 3 | | | | | | | |
| | 内容 | | | | | | | |

D 住宅履歴情報の蓄積について

| | | | | |
|----------------|------|-----|------|---|
| ① 履歴情報預り証の発行件数 | 発行済 | 4 | 発行予定 | 1 |
| ② 住宅履歴情報の保管先 | グループ | 機関名 | | |

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

| | | |
|---------------------|--|--|
| ① 施工構成員の廃業に対する体制 | 有 | |
| 内容 | グループ構成員は常に情報網を張り、情報入手した場合は迅速に事務局へ報告する。事務局は情報入手後、メンテナンス報告内容を基に施工構成員を紹介する。 | |
| ② H30年度における施工構成員の廃業 | 無 | |
| 対応内容 | | |

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

| | | |
|--------------|---|--|
| 省エネ化に対する取組 ① | 有 | |
| 内容 | 基本的にゼロエネ(ZEH)住宅を推進していく当グループとして、その意識と意欲をさらに啓蒙させるために、グループ代表事業者自ら『ハウス・オブザ・イヤー』に申請し、優秀賞を受賞した。 | |
| 省エネ化に対する取組 ② | 有 | |
| 内容 | 建材メーカーが主催するZEHセミナーの情報を入手したので、参加するよう施工構成員に連絡した。 | |
| BELS工務店の登録数 | 1社 | |

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

| | | | | |
|-------------|--------------------|---|------|--------|
| グループ名称 | エネルギーを未来に残す家づくり研究会 | | | |
| H30採択グループ番号 | 07 | — | 0695 | — 0511 |

A 各種説明会・研修会の実施について

| | | | | | | | | |
|-------|---|---|-----|------------|----|--------------|-----|-----|
| ① 事業 | 事業実施説明会 | 有 | 開催日 | 2019/07/19 | 名称 | H31グループ仕様説明会 | | |
| | 内容 | 今年度における取組方針の主旨説明を話し、グループ共通ルール・申請方法・研修会等の実施計画の説明会を行う。 | | | | | | |
| ② 消費者 | 消費者説明会 1 | 有 | 開催日 | 2019/07/28 | 名称 | 家づくり教室 | | |
| | 内容 | 昨年と同様に、建材メーカー展示場の会議室をお借りして、各構成員の見込みのお客様に対し、高性能住宅のメリットを各項目に分け学校の授業形式にしたわかりやすい説明をする「家づくり教室」を開催する。 | | | | | | |
| | 消費者説明会 2 | 有 | 開催日 | 2019/08/24 | 名称 | ありがとうの家見学会 | | |
| 内容 | 家づくり教室に参加されたお客様や地域の消費者様を対象に現場見学会を行う。 見学会は構造と完成の2回とし、構造では隠れてしまう部分の施工精度を、完成では高性能住宅ならではの快適な体感をしてもらう。(完成は冬の予定) | | | | | | | |
| ③ 工務店 | 工務店研修会 1 | 有 | 開催日 | 2019/07/28 | 名称 | 資金計画提案研修会 | タイプ | 座学 |
| | 工務店研修会 2 | 有 | 開催日 | 2019/08/24 | 名称 | ありがとうの家構造見学会 | タイプ | 見学会 |
| | 工務店研修会 3 | 有 | 開催日 | 2019/09/20 | 名称 | ZEH設計研修会 | タイプ | 座学 |
| | 工務店研修会 4 | 有 | 開催日 | 2019/12/14 | 名称 | ありがとうの家完成見学会 | タイプ | 見学会 |
| | 工務店研修会 5 | | 開催日 | | 名称 | | タイプ | |

B 未経験工務店へのサポートの実施について

| | | | | | | | | |
|------|-----------|--|--|--|--|--|--|--|
| 取組み① | サポートの有無 1 | 有 | | | | | | |
| | 内容 | 各建材メーカーとの協働にて勉強会を開催する。グループ構成員の現場を公開し、技術的な情報交換ができる場を設ける。 | | | | | | |
| 取組み② | サポートの有無 2 | 有 | | | | | | |
| | 内容 | 設計構成員による過去物件の外皮計算・耐震計算を無料で実施し、それに伴う費用を構成員単位で算出してもらいアップ価格を把握させ、ユーザーに提案できる活動を行う。 | | | | | | |
| 取組み③ | サポートの有無 3 | 有 | | | | | | |
| | 内容 | | | | | | | |

C 住宅履歴情報の蓄積について

| | | | |
|------------|------|-----|--|
| 住宅履歴情報の保管先 | グループ | 機関名 | |
|------------|------|-----|--|

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

| | | | | | | | |
|------------------|---|--|--|--|--|--|--|
| ① 施工構成員の廃業に対する体制 | 有 | | | | | | |
| 内容 | 昨年と同様の対応とし、グループ構成員は常に情報網を張り、情報入手した場合は迅速に事務局へ報告する。事務局は情報入手後、メンテナンス報告内容を基に施工構成員を紹介する。 | | | | | | |

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

| | | | | | | | |
|------------------|---|--|--|--|--|--|--|
| 省エネ化に対する取組み (新築) | 有 | | | | | | |
| 内容 | 事務局が主体となり、省エネ化に向けた各種講習会の予定日を把握し構成員に通知する。 | | | | | | |
| 省エネ化に対する取組み (改修) | 有 | | | | | | |
| 内容 | 建材メーカーと協働し、省エネ改修で訪問提案できるチラシを作成し構成員から各戸に提案してもらう。 | | | | | | |

F 省エネ改修に関する研修の計画

| | | | | | | | |
|--------|--|-----|------------|--|--|--|--|
| 研修計画 ① | 有 | 実施日 | 2019/09/17 | | | | |
| 内容 | 省エネ改修型の内容が公開された後、取組み意思のある事業者を対象に研修会を実施する。 省エネを達成させる仕様ルールは内容が分かり次第、グループ協議して設定する。 | | | | | | |
| 研修計画 ② | | 実施日 | | | | | |
| 内容 | | | | | | | |

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

| | | | | | |
|-------------|--------------------|---|------|---|------|
| グループ名称 | エネルギーを未来に残す家づくり研究会 | | | | |
| H30採択グループ番号 | 07 | — | 0695 | — | 0511 |

A 提案する地域型住宅の特徴

| | | |
|----|---|---|
| 内容 | 現場での施工精度のバラツキをなくす、建材メーカーが生産する断熱パネルを採用し高断熱・高气密・高耐震を実現させる住宅づくりに取り組んでいます。 開口部(サッシ)は、ガラスとの組合せにおいて、熱貫流率=2.33以上を基本仕様とする。玄関ドアはK-2を基本仕様とする。 24時間換気設備は、全般換気システムとし熱交換率85%以上の性能を有するものを採用する。 気密測定を実施し気密性能を確認する。(ただし、費用面でお施主様ならびに事業者様が希望されない場合は除外とする) 長寿命型における耐震等級は平屋・2階建は3を標準、3階建は3を目標とする。 省エネ改修型については上記ルールは適用外とし、内容が分かり次第、グループ協議して仕様ルールを設定する。 | ● |
|----|---|---|

B 地域材の利用に関する共通ルール

| | | | | | |
|-------------------------|------------------|-------|---|-------|--|
| ①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合 | 50%未満 | 50%以上 | ■ | 80%以上 | |
| ①-2 地域材の使用部位 | ② 地域材の利用に関する補足説明 | | | | |
| 主要構造材 | 土台 | 有 | 使用量はルール化しないが、大引・母屋・棟木・小屋束の第2構造材においても積極的に地域材を使用する。 | | |
| | 柱 | 有 | | | |
| | 梁・桁等の横架材等 | 有 | | | |
| 羽柄材 | 間柱、根太、垂木等 | 無 | | | |
| 造作材 | 枠材、廻縁等 | 無 | | | |
| 板材 | 壁板、床板等 | 無 | | | |

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

| | | |
|------------------------|---|--|
| ① 地域材の調達共同化に向けた取組み | 有 | |
| 内容 | 1棟あたりの平均需要予測を12立平と算出し、必要在庫量としてプレカット構成員へ確保させる。 | |
| ② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み | 有 | |
| 内容 | 施工構成員による個別購入のメーカー・品種のリストを作成し、購入価格も含め推奨建材として取りまとめ、建材メーカーの協力を頂きコスト削減につなげる。 | |
| ③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化 | 有 | |
| 内容 | プレカット構成員が定期的に事務局へ情報連絡する。事務局は情報を精査し、必要に応じ施工構成員に連絡する。 | |
| ④ 施工に関する統一ルール | 有 | |
| 内容 | 建材メーカーから供給される断熱パネルなので、気密・断熱に関わるマニュアルがあり、それに準じて施工されている。 | |
| ⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール | 有 | |
| 内容 | 引渡時に渡す「家歴ファイル」にメンテナンス点検リストを付けている。それに準じての運用を提唱している。点検後リストのコピーを事務局に渡すルールになっている。 | |
| ⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外) | 有 | |
| 内容 | 施工品質の確保に取り組むことを目的に施工中と竣工前の2回、現場点検検査を実施する。検査は事務局と施工構成員持ち回りの2名体制とする。 | |
| ⑦ 見積りに関する統一ルール | 有 | |
| 内容 | 一式価格での表示を極力無くす様に共通の見積書式の作成に取り組む。 | |
| ⑧ その他の共通ルール | 無 | |
| 内容 | | |

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

| | | | |
|---------------------------|---|----|--|
| ① 週休2日制の導入の取組 | 有 | 内容 | 施工構成員の事業所においては遅れているところが多いので、取組みが進んでいる事業者からのヒアリングを実施し、導入の推進をしていく。 |
| ② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組 | 有 | 内容 | グループの今年度の課題として実現に向けた取組みの方向性を検討していく予定です。 |
| ③ 社会保険への加入 | 有 | 内容 | 基本的に全事業者が加入している。 |
| ④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組 | 有 | 内容 | 毎朝、勤務時間前にラジオ体操をするようにし、社員の体調管理を確認している。 |

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

| グループ名称 | エネルギーを未来に残す家づくり研究会 | | | | |
|-------------|--------------------|---|------|---|------|
| H30採択グループ番号 | 07 | — | 0695 | — | 0511 |

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

| ① 畳の活用 | 有 | 内容 | 設計時に最低1部屋の和室を盛り込む提案をしている。盛り込めない場合は洋室の置き畳を推奨している。 |
|---------------|---|----|--|
| ② 和瓦の活用 | 有 | 内容 | 施工構成員による積極的な活動があればグループ内で推進していく。 |
| ③ 襖・障子の活用 | 有 | 内容 | 施工構成員による積極的な活動があればグループ内で推進していく。 |
| ④ 地域の伝統的素材の活用 | 有 | 内容 | 施工構成員による積極的な活動があればグループ内で推進していく。 |

B 地域の住文化に関する取組み

| | | | |
|------------------|---|----|--|
| ① 地域の伝統的なデザインの継承 | 有 | 内容 | パツンブ設計としての軒・庇ある建物を提案していく。外壁の仕上げにおいては漆喰調の塗り壁(スイス漆喰)を推進する。 |
| ② 地域の住まい方の継承 | 有 | 内容 | 夏対策として風の通る窓の配置計画と樹木の植え込みを推奨する。 |
| ③ 地域の街並み形成への配慮 | 有 | 内容 | 供給地域にある街並み形成の指針を再確認しての設計を促す。 |

C 被災地の復興に資する取組み

| | | | |
|---|--|--|--|
| ① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み | 被災地域で生産されていると思われる建材商品は積極的に購入するようにしている。 | | |
| ② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み | 災害等が発生した場合、自社供給物件以外の点検・調査が出来るようにグループ内供給住宅の情報の取りまとめを検討している。 | | |